

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で24年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 6月度定例会

6月9日(木)、ソリッドスクエア1階会議室にて、午後6時より19名の参加をえて、「山田会頭を囲んでの懇談会」と題して開催。

参加会員の自己紹介の後、川崎商工会議所山田長満会頭より、会頭就任時の所信表明を基に、提言・要望活動、戦略会議の設置、中小企業経営基盤の強化と支援、会員増強、新会館の建設など主要事業施策の説明と、メルマガやKCCIカレッジの利用・参加を呼びかけた。「温故知新発想で、未来を拓く魅力あふれる会議所に」・「攻める会議所に」と、思いを熱く語られた。

その後、懇親会場に席を移し、盛会のうちに終えた。



## 6月度分科会

6月1日(水)高津市民館会議室にて、午後6時30分より開催。今回は「社業紹介」をテーマにして、川異研メンバーのタイジ株式会社 開発部技術課係長 橋本 大樹様、村山 君学様よりご発表を頂きました。会員企業より社業発表頂くことで、会員相互の連携強化や事業理解の推進を図ることができました。また、会員企業の若手リーダーのご参加もお願いしていましたが、株式会社 アクト様より吉田様・渡邊様のご参加を頂き、学生参加も加えて総勢20名となり発表者・参加者双方の人材交流・情報交換の場として盛り上がりました。

タイジ株式会社 様におけるアセンブリ・製造部門のアウトソーシング、経理やデザイン部門の少数精鋭スタッフによる本部機能のスリム化は、停滞する経済不況を乗り越える能動的経営戦略のモ

デルとして大変参考になりました(社員数47名、平均年齢39歳)。また、「スピードと誠実なアフターサービスで業種1番の商社を味方につける」という経営戦略により、製造コストの低い海外製品との差別化を図っていることや主力商品の酒燗機やタオル蒸し器などに加えて、それらの技術を応用したファッショナブルな厨房やパフェレストラン・デリスタンドなどで利用される陳列棚やランプウォーマーなどの新しいラインナップも充実されているなど、攻めの経営の具体的事例をご披露下さり、メイドインジャパンの底力を知ることができました。

今後も、会員企業の社業紹介や若手リーダー間の交流を通じて、会員相互の連携強化や人材育成を図っていききたいと思います。

(報告者:副会長 小林猛久氏)



加入のお問い合わせは

事務局:多摩麻生支所 TEL 044-932-1100